

2022/1/26-2

(オマケの英語教室 before after) 書庫版



「背に腹は代えられぬ」

を英語で何というか？

We never can replace a back to a front.

でもいい様な気がします何かイマイチ面白くないので

Never can put “a after” before “a before”

にしてみました。

上の文は文字通りですが下の文は意識です。

つまり後に出てくる結果（背）を前（腹の代わり）にはおけない。という意味で

「背に腹は代えられぬ」

を表している訳です。

或いは少し長くなりますがもうちょっとダイレクトに

Never can wait for a after (=later hopeful result), then anyway will take a before (=earlier direct effect)

(後で出てくる希望的な結果を待ってられないのでまずは前の直接的な効果に手を付ける)

覚えるのが大変ですが是でもいいかもしれません。

なので、お勧めは真ん中の文案です。

ところでこの「背に腹は代えられぬ」の採用可否の選択を迫られているのが将に今です。

何を隠そうコロナ禍第 6 波、オミクロン株の爆発的感染拡大とその亜種であり更に感染力の強いオミクロン株 BA2 への変異が確認された事で最早社会機能そのものが維持できそうもなくなり、医療、治安、教育の崩壊の恐れから人々の姿が我が商圈から消えてしまいました。

たまに人出があるとすれば夕刻のスーパーで、見切り売りの discount お弁当に人が群がる時だけ。それも目当ての物を手に入れるとさっといなくなってしまう始末。

企画元のスーパーにしてもお弁当の discount は「ついで買い」を狙った客寄せパンダの筈

が是では何の為の discount か分からなくなっている処でしょう。

で、話は翻って当店が何に関して「背に腹は代えられぬ」の採用の可否を悩んでいるのかと申せば、

「前例に倣い当店でも takeout の 550 円を 500 円に discount すればそれなりの需要がとれる事が分かっている。しかしこちらにしてみれば是はあくまで臨時措置で、その後、値を元の 550 円に戻しただけの筈が、そういった理屈は一切受け入れられずお客様にしてみれば 50 円の値上げに映ってしまい、戻した後の需要が激減してしまった」

過去がありました。

何の事はない全体を通してみれば「需要の先食い」でしかなかった訳です。しかも悪い事に「値上げをした」というマイナスイメージだけが残ってしまった。

増税前の駆け込み需要も同じ事です。しかしこの場合は更に悪い事にお客様からみれば、増税前の discount が例えば 20% だったとしたら増税後の戻し値分 20%+増税分 2% で合計 22% アップに見えてしまうのでお店側の影響は更に深刻でしょう。

そうした過去の経験を思い出す時、いっかな「背に腹は代えられぬ」とはいえ、そうそう安易に「背に腹を変えるべきではない」という思いもあるからです。

ましてや、お金を社会に回す為には賃上げが必要であり、その原資を得る為には適正な商品価格転嫁（良いインフレ）が必要だとの立場にもあるのでそう簡単に「背に腹を変えたくない」という思いもあるのです。

テレビ番組の題名ではありませんがそれこそ before after で、値上げ前（before）はデフレで苦しんだが、値上げ後（after）は生活が却って楽になったという様な「大幅な改善」を実現したいからです。